



あけましておめでとうございます。

社会福祉法人 丸瀬布福祉協会

理事長 能正政寛

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

当法人も皆様の温かいお心遣いのもと大過なく一年を過ごせましたことを感謝申し上げます。

北海道におきましては先月末から少しづつではありますが感染者数は増加に転じました。

「第6波」は必ず訪れるといわれていたことが現実となりつつあるように感じます。

新しい変異株については感染力は強いとされているもののわからないことも多くとても心配ですが、今までどおりの手洗い・マスク・換気・密閉空間・密集場所・密接場面のいわゆる三密の回避を徹底することが感染予防には必要です。

日本国内においては諸外国に比べ感染者数にかなりの開きはありますが増加に転じるのも時間の問題とおっしゃる専門家の方がほとんどです。

新年早々気が滅入る話題ではあります「ウィズコロナ」といわれるようになった昨今、予防は怠らないことが大切です。



緑の園 1月号

ヒルトップハイツ
グリーンプラザ
ディサービスセンター
だより

第67号
令和4年1月1日発行

Deep Purple/Machine Head(1972)

利用者様については
3回目のワクチン接種も近く予定されており予防のための動きも加速していくと思います。

まだまだ気を抜けない日々が続きご不便をおかけいたしますが何卒よろしくお願ひ申しあげます。

今年も緊張感と隣合せの一年となります
が皆様方におかれましては幸多い寅年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



心温まるご寄付
ありがとうございました。

「ヒルトップハイツ」へ

※マウレ山荘様 そば・いなりずし

※遠軽町 陽気朗グループ 代表 稲垣史朗様

※公明党丸瀬布・白滝支部女性局

代表 安在敬子 様

「緑の園/グリーンプラザ」へ

※マウレ山荘様 クリスマスケーキ

※遠軽町 陽気朗グループ 代表 稲垣史朗様



先月の出来事…です。



グリーンプラザおよび緑の園では北星学園大学副学長 中村和彦 様をお招きし「ストレスから立ち直る力につけるには」についてご講義をいただきました。(10日)

遠く札幌よりお忙しいところお越しいただきました中村先生には職員一同、心より感謝いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症対策で日頃利用者様にはご不便、ご迷惑をおかけしておりますがそんな日常にあって少しでも笑顔になっていただけたらと願い、デイサービスでは14日から17までの4日間にクリスマス会、ヒルトップハイツでは22日にクリスマス食会、緑の園/グリーンプラザではクリスマス・忘年会を22日にそれぞれ開催いたしました。

開催された当日は笑顔にあふれとても賑やかな時間となりました。

私も(おばら)も少しばかり参加させていただきましたが利用者様から「楽しかった、また来年もお願いね」と褒められました。で、来年も職員一同頑張りますのでなにとぞよろしくです。(おばら)



今年もどうぞよろしくお願ひします。

新型コロナ感染症対策は新たな緊張の中、二度目の正月を迎えることになりました。

今もなお、閉塞感は強く、いつまで続くかわからない不安でいっぱいの毎日が続いている。

施設職員としての行動制限は相変わらず続き、日常生活では我慢することが当たり前の状況になっています。

で、どうしてもネガティブな考えに支配されてしまいますが、今はこんな状況なので仕方ないことだと諦めています。

でも、こんな状況だからこそこの経験は私たちにとって体験的な知識となるはずです。

いろいろな人の苦労を理解し、認めることができる気持ち、人のやさしさに気付ける機会になるのかな(?)と超ポジティブに考えています。

「私たちはよくやっているよね」と自分たちを認めあい尊重し合っていけばこの難局も過ごして行けるのかと思います。(なんてね…。)

いよいよ新しい年が始まりました、皆さん今年もどうぞよろしくお願ひいたします。(おばら)

